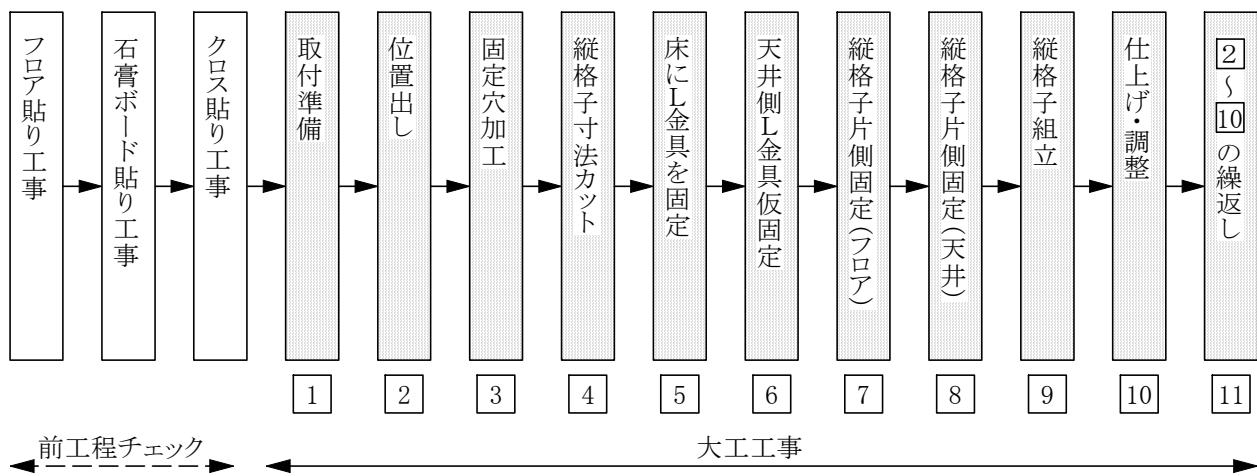


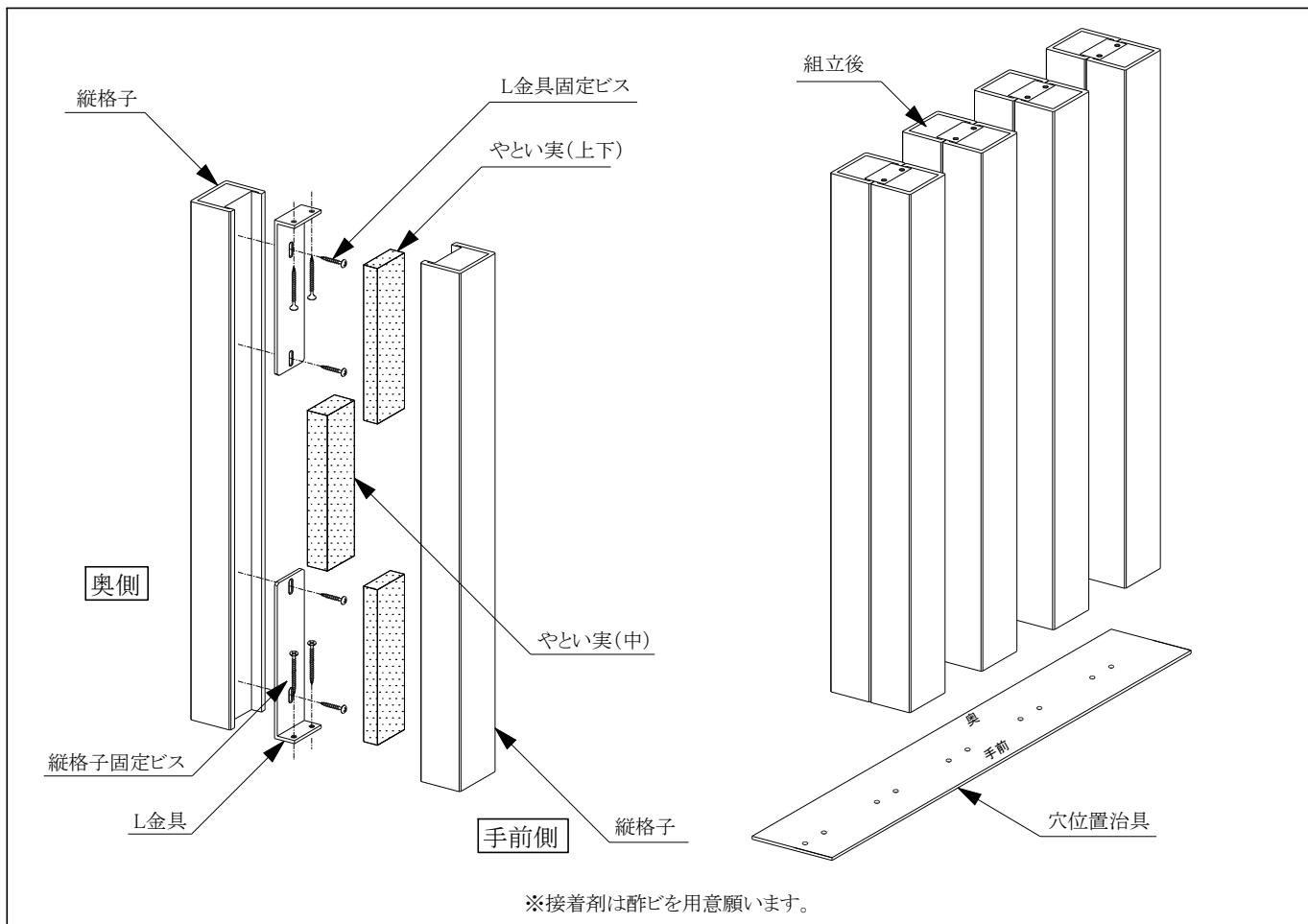
縦格子

1. 工程表



注 本製品は天井と床へのビス固定が必要です。事前に天井及び床の補強下地の確認をして下さい。

2. 部品構成図



3 施工手順

1 取付準備

部品名	寸法	員数	用途
細縦格子 スクエア縦格子	W40*D40*L W40*D80*L	2本	本体-手前・奥(共通)各1本
やとい実(中)	t20*30*(L-650)	1本	縦格子(中間部)の接合用
やとい実(上下)	t14*30*290	2本	縦格子(上下部)の接合用
L金具	t3*W30*D20*L300	2個	天井とフロアへの固定用
L金具固定ビス	木ビス	4個	L金具の固定用
縦格子固定ビス	木ビス	4個	縦格子の固定用
穴位置治具(細縦格子) 穴位置治具(スクエア)	t3*D80*W400 t3*D80*W480	1枚	L金具の取付穴位置出し用

・員数: 縦格子1本当りの数量。穴位置治具は1枚/梱包。

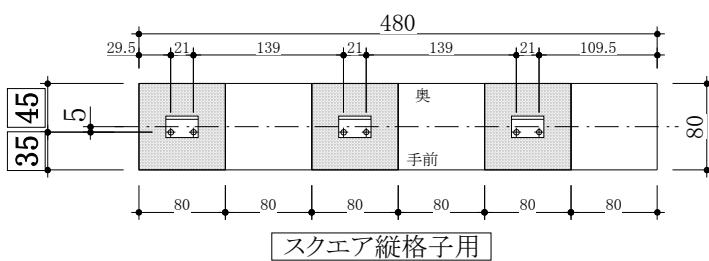
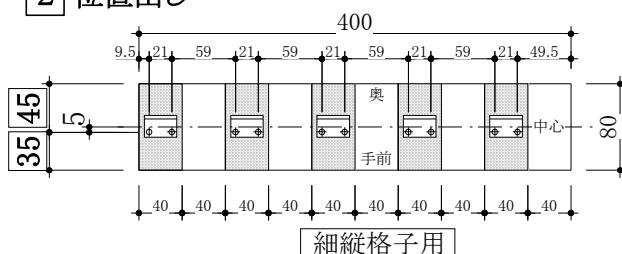
1) 縦格子、L金具の員数の確認。左記、員数表参照。

・接着剤は酢ビを用意願います。

2) 設置場所の確認

・天井面へのビス固定が必要です。事前に補強材の有無を確認して下さい。

2 位置出し



1) 設置位置は穴位置治具で位置出します。

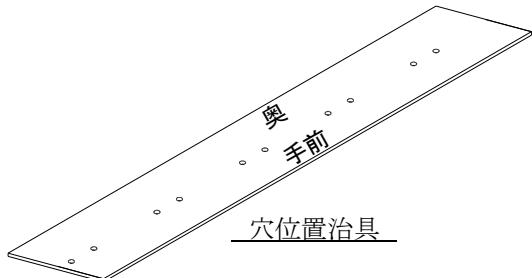
・天井及び床に設置位置の墨出しをして下さい。

・穴位置治具は細縦格子の割付が推奨の40mm間隔です。
スクエア縦格子の割付が推奨の80mm間隔です。

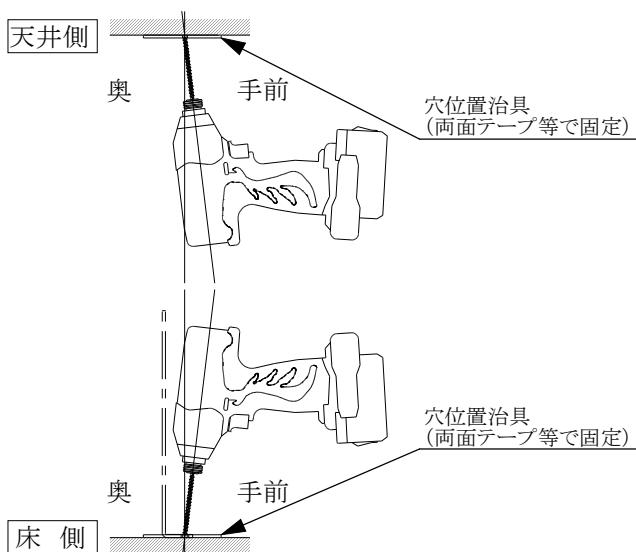
・治具幅は縦格子の見込み80mmと同じです。

注 設置間隔を変更する場合、穴位置治具の端部をカットするなど設定の寸法に合わせて下さい。

注 穴位置治具は前後あります。表示を確認し合わせて下さい。



3 固定穴加工(L金具を固定する為の下穴を加工する)



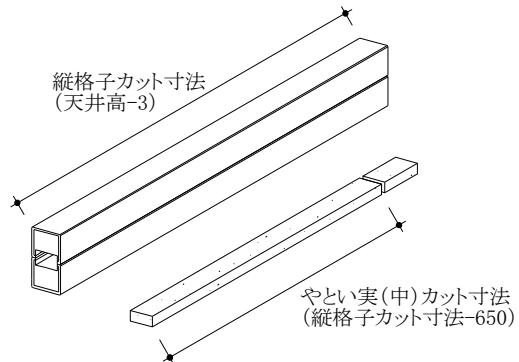
1) 穴位置治具を両面テープ等で固定しガイド穴に沿って $\phi 3.0$ キリで手前から奥に向かって少し斜めに下穴を加工する。

(斜めに下穴を加工するとL金具の取付けが容易になります。)

・天井側は下穴深さを石膏ボードだけでなく合板まで加工する。

注 穴位置治具の前後に注意して下さい。(天井・フロア共)
前後を間違えると縦格子位置がズレます。

4 縦格子寸法カット



1) 縦格子の寸法カット

施工する位置の床から天井までの高さを計測し、その寸法より-3mmを目安にカットする。

2) やとい実(中)の寸法カット

縦格子のカット寸法の-650mmでカットする。



- ・縦格子をカットするときは端を揃えて組んだ状態でカットし長さを合わせて下さい。
- ・施工する位置によって天井が垂れていることがあるので1ヶ所単位でカットするか天井高さを1本単位で計測しながらカットして下さい。

5 床にL金具を固定

図1

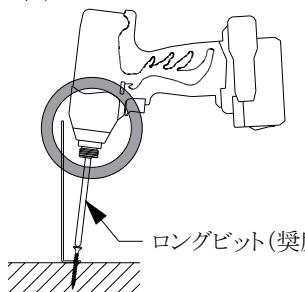
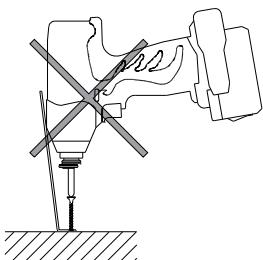


図2



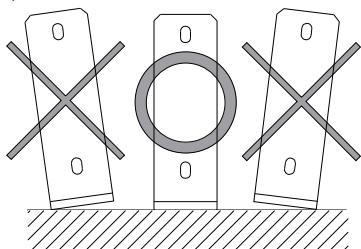
1) 床にL金具を固定

床にL金具を木ビス(皿4*55)2本で固定する。



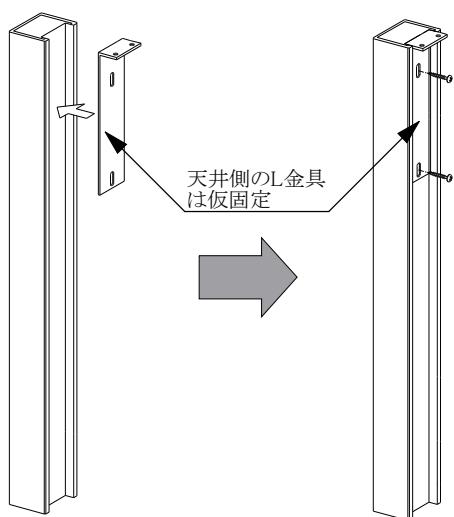
- ・出来るだけL金具に当たらないよう手前から奥に向かって少し斜めにビスを打ってください。(図1)
※ロングビット奨励
- ・垂直にビスを締めると電気ドライバーがL金具に当たりL金具が変形してしまいます。(図2)
- ・ビス2本の締め具合を均等にし(縦格子の反り防止の為)L金具が垂直になるようにして下さい。(図3)

図3



6 天井側L金具仮固定

図1



1) 天井側L金具を縦格子に仮固定

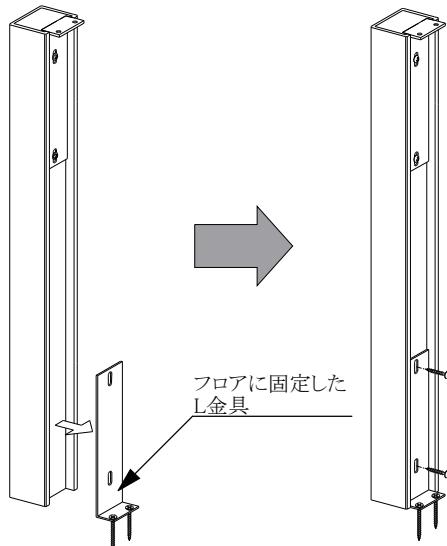
奥側の縦格子の溝に、L金具の端面が縦格子の木口に揃うように嵌め込み、木ビス(トラス3.5*25)でL金具を縦格子に仮固定(縦格子に対しL金具が動く状態)する。(図1)



- ・L金具の端面と縦格子の木口面を揃えたときに、L金具の長穴の中心にくるように、ビスを打ってください。
- ・この段階でL金具を縦格子片側に完全に固定してしまうと、縦格子片側を天井に固定する時に取り付けるのが難しくなります。

7 縦格子片側固定(フロア)

図1



1) L金具を仮固定した縦格子片側(奥)を、床に固定したL金具に奥側から嵌め込み、木ビス(トラス3.5*25)でL金具に固定する。(図1)



- ・縦格子のビス固定時は縦格子を床にしっかりと押しあてて下さい。
- ・縦格子と仮固定したL金具で天井・床を傷付けないように注意して下さい。

8 縦格子片側固定(天井)

図1

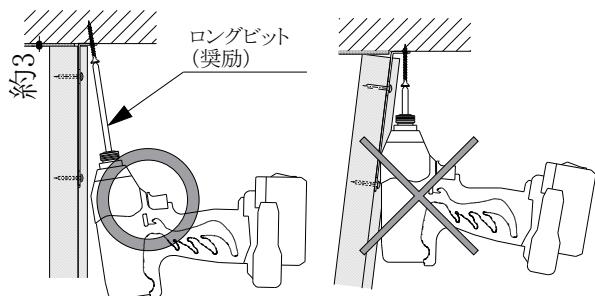


図3

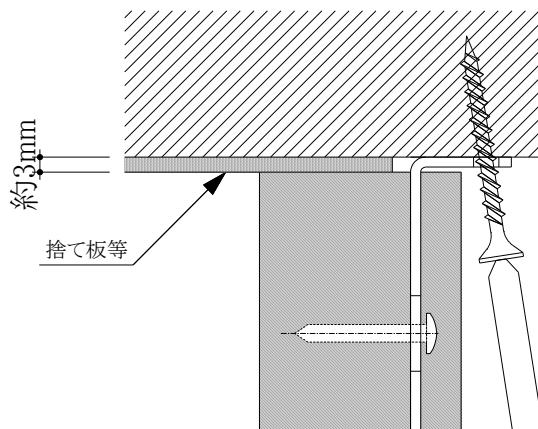


図4

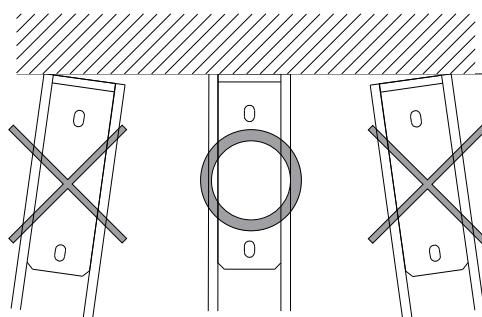
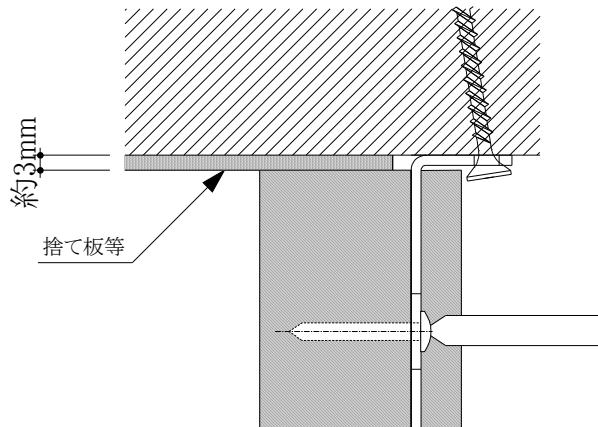


図5



1) 縦格子に仮固定されたL金具を木ビス2本(皿4*55)で天井に固定する。

この時、縦格子の天井側木口と天井に約3mmの隙間を、捨て板等を用いて設ける。(図3)



・出来るだけL金具と縦格子に当たらないよう手前から奥に向かって少し斜めにビスを打ってください。垂直にビスを締めると電気ドライバーがL金具や縦格子に当たり、L金具が変形し縦格子がうまく取り付けられなくなる恐れがあります。(図1)
※ロングビット奨励



・ビス2本の締め具合を均等にしL金具と縦格子が垂直になるようにして下さい。(図4)

2) 天井側の仮固定していたL金具を本締めし固定する。

この時、上記1)と同様に、縦格子の天井側木口と天井に約3mmの隙間を、捨て板等を用いて設ける。(図5)

3) 縦格子の位置(前後・左右)ズレや傾きを確認。

※ズレや傾きの修正方法

天井側もしくは床側の縦格子固定のビス穴を埋め木し下穴を加工してビスを締め直して下さい。

9 縦格子組立(1ヶ所単位)

図1

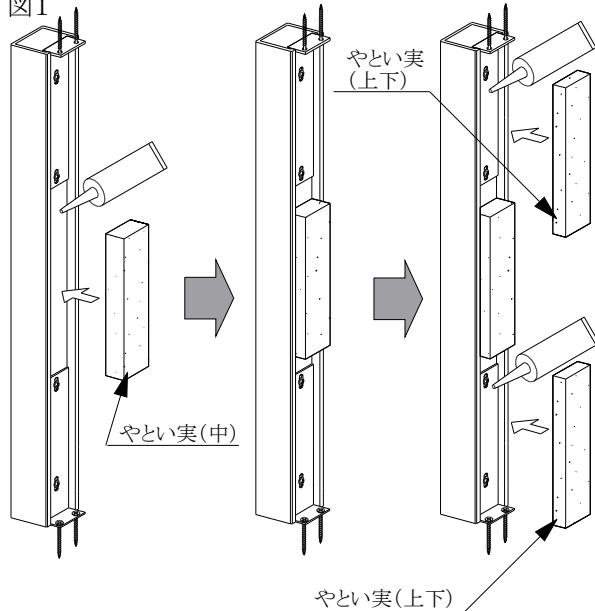
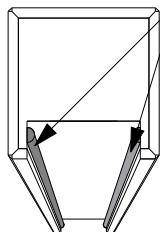


図2

接着剤塗布位置
($\phi 3$ 程度を溝の側面へ塗布)



1) 固定した奥側縦格子の溝側面に接着剤を線状(径3mm程度)に塗布して下さい。(図2)

2) 縦格子の中央部(L金具と重ならない位置)にやとい実(中)を奥まで挿し込む。

3) 1)と同様に縦格子上下部の溝側面に接着剤を線状(径3mm程度)に塗布(図2)し、上下のやとい実を奥まで挿し込む。



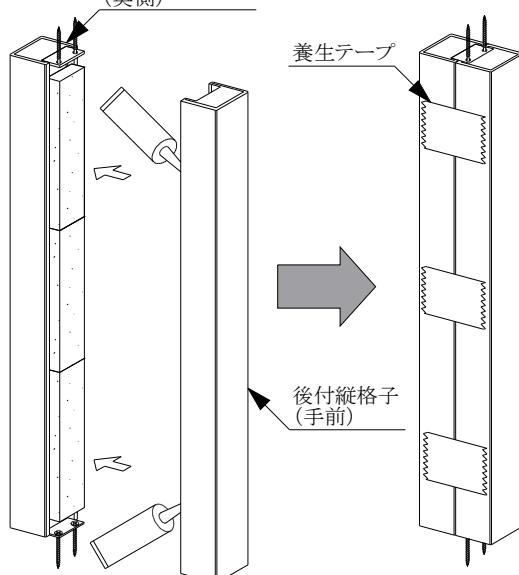
・接着剤は溝の両側面に線状(径3mm程度)に塗布して下さい。(図2)

図3

固定済み縦格子
(奥側)

図4

養生テープ



4) もう片側の縦格子の溝の側面に接着剤を線状(径3mm程度)に塗布し組み合わせる。(図3)



・接着剤は溝の両側面に線状(径3mm程度)に塗布して下さい。(図2)

・接合部に隙間が出てないか確認。

隙間がある場合は締め付け、養生テープ等で仮固定する。(養生:4~5時間)(図4)

養生中は縦格子に外力を加えない様にして下さい。
(接着力が保証できなくなります。)

10 仕上げ・調整



- ・はみ出た接着剤は固まる前に拭き取って下さい。
- ・固定強度の確認(縦格子を手で捻るなどしガタツキが無いかをチェック)。
異常な場合は接着剤が固まる前に分解しビスの増し締めや勘合具合を確認し、再度[工程9]の手順を行って下さい。

11 工程No.2～10の繰返し



- ・縦格子位置(前後・左右、等間隔)、垂直度、傾きを確認して下さい。



- ・位置ズレや傾きの修正方法

天井側もしくは床側の縦格子固定のビス穴を埋め木し、正規の位置に下穴を加工して縦格子の固定をやり直して下さい。